

備前市事務事業評価表

(平成17年度事業)

事務事業名	環境衛生事業（吉永）		コード	担当課	吉永市民福祉課	環境衛生係
			01-02-02-04	担当者	貞友 武典	
事業実施期間			電話	84-2592		
総合計画 事業（政策）体系	大項目	安全で快適に暮らせるまちづくり				
	中項目	自然と共生するまちづくり				
	小項目	環境美化				
	施策	環境美化活動の推進				

事業について	
目的	環境美化に関するモラル低下を防ぎ、安全で住みよい環境を地域住民に供与する
対象 (誰のために)	市民、特に吉永地域住民
内容	年々、悪質化かつ巧妙化している不法投棄、落書、放置自転車等に対応するため、日々パトロールを実施して、早期発見に努め、早期解決に結び付けている。

事業の結果	17年度		
実施項目	回数など (単位)	回数など (単位)	回数など (単位)
不法投棄解決件数	26 件		
環境事件出動件数	21 件		
環境パトロール	約230 日		

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	2,808	国庫補助金等		直接事業費		国庫補助金等	
	人件費	7,740	受益者負担		人件費		受益者負担	
	合計	10,548	一般財源等	10,548	合計	0	一般財源等	0

必要人員	1.60	人
結果指標名	不法投棄解決件数	
結果指標量	26	
単位	件	
対前年比	—	0.00%
事業費	7,740,000	円
単位当たりコスト①	297,692	円

結果指標名	環境事件出動件数	
結果指標量	26	
単位	件	
対前年比	—	0.00%
事業費	7,740,000	円
単位当たりコスト②	297,692	円

事業の成果	17年度		
成果指標名	不法投棄解決件数	式又は説明	不法投棄の早期発見、早期解決
成果指標量	26		
対前年比	—	0.00%	
到達目標値	不法投棄件数の減少	到達目標年度	毎年度

事務事業の評価		課題認識
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	環境美化推進員が市内を定期的に監視することで、不法投棄や落書等の早期発見に努め、関係機関と連絡を図り早期解決につなげている。
	対象の妥当性	
	市民ニーズの妥当性	
効率性の評価	市民ニーズの妥当性	岡山県や備前警察署と常に連絡を取り合い、情報を共有して、事件の解決に結び付けている。しかし、市の財政状況から推進員雇用の継続は困難となっている。
	市の関与の妥当性	
	コストの効率化	
有効性の評価	市民関与の妥当性	監視パトロールを実施し、不法投棄、落書等は絶対に許さないという強い姿勢を示すことは、環境美化の維持に多大の成果を挙げている。
	コストの効率化	
	手段の最適化	
総合評価	職場の効率化	市民参画度
	目的達成度	
	成果向上の可能性	

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である結果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

総合評価	コメント	評価区分
	市が環境美化推進員を雇用し、市内の監視パトロールを実施していることは、環境美化を維持するうえで重要であると考えられるが、財政難の状況から雇用推進員の継続は困難となっている。今後は職員で対応することを検討する必要がある。	<A~E> D

今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input type="checkbox"/> 完了・統合		
翌年度結果指標量①	20件	結果指標量②	20件
目標値	結果指標量		

改善事項	評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
有効性	財政難による推進員雇用の廃止		19年度	臨時職員雇用費金の削減